



楓の誉

R6.10.1 (第 6 号)
文責：高田 幸伸

「日常生活とネットはつながっています。」
～情報モラル講演会～

九月十七日(火)、

情報モラル講演会を実施しました。講師である小木曾 健(おぎそけん)様(国際大学グローバルコム客員研究員)にはオンラインで講話していただき、小学校五・六年、中学生は、各学級で参加しました。小木曾様は、複数のベンチャー企業勤務を経ながら、多数の講演、メディア出演、執筆活動を通じて情報リテラシー等について幅広く情報発信をされている方です。



〈↑ 教室で視聴している様子〉

講演は、印象的な資料や話を提示されながらインターネット等の危険性と使用の原則などについて展開していきました。

○ネットの世界では、自分と見ず知らずの誰かは、間に五人を介するまでに九十九・九%以上の確率でつながる。(そのくらいネットの情報は、私たちの近くにあり拡散しやすい。)

○ネットに「限定公開」はないも同然である。
○ネットに情報をあげる場合は、あげたらどうなるかというあげる前の想像力が重要である。

○日常生活とネットに境目はなく、いつもつながっている。
○日常生活でやっていることは、ネットでもやっている。日常生活でもやっていけないことは、ネットでもやってはいけない。
そして最後に…

☆ネットに情報をあげることは、自分の家の玄関の外側に張り紙をするのと同じこと。そこに掲示できるのか、否かで判断していくことが重要である。

と締めくくられました。
今回の講演を機に、ご家庭でスマートフォン等の使用について話題にして、大人も含めて考えるきっかけになればと思います。

※毎月十五日は、メディアアカウントロール(言葉の教育)の日です。家族での会話等を増やし、今日のできごとなどについて語り合う日にしていただければと思います。

災害時シミュレーション

～日頃の備え、そして…～

九月十八日(水)五校時、「災害時シミュレーション」を実施しました。

九月一日の「防災の日」にあわせ、一人一人の防災に対する意識を高めることが目的です。

学習は青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのちひろめるぼ



〈↑ 所持品を班で検討している様子〉

うさい」を活用して行いました。

授業の冒頭、約二分間の沈黙の時間がありました。そして、「令和六年三月の休日、午前十一時四十五分、天候は雨、気温はマイナスイ度で地震が起き、避難するという設定で「スーツケースに入れて避難所に持っていく所持品を選んでください。」という投げかけで各学級話し合いを行いました。所持品は、

- ①毛布②本③携帯電話④家族・友人の写真
- ⑤衣類⑥水⑦薬⑧ゲーム⑨食料

個人や班で考え、各学級、学校全体で共有していききましたが、個人や班で選択したものは様々でした。個々の人や家族の状況で備えておくべきものは違う、ということでした。

さらに、持っていくものが準備できていない場合は、持っていく必要はなく、自分の命を守るために「逃げる」ことが最優先だと学びました。防災グッズや避難場所等、ご家族で確認していただければ幸いです。

全国学力・学習状況調査について

本年四月、中学三年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査(国語・数学)の結果については、二教科ともに県、全国平均を上回りました。今後は、今回の結果をもとに、各教科で分析を進め、課題のある問題や領域・観点を洗い出し、その改善に向けて取組を進めて参ります。保護者の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

※学校生活の様子や様々な情報は、本校HPに随時、掲載しています。



学校HPのQRコード